日本赤十字九州国際看護大学紀要 執筆要領

日本赤十字九州国際看護大学紀要規程第８条に基づきこの執筆要領を定める。また、本学紀要の編集スタイルは、原則、共同看護学専攻 学位論文執筆要領および米国心理学会 (American Psychological Association, APA) 発行の『Publication Manual of the American Psychological Association, 7th ed.』 (2020) ／『APA 論文作成マニュアル第３版』 (2023) 医学書院 に準拠するが、一部については本学独自のルールを用いる。

１．執筆形式

（１）原稿は和文または英文とする。ページ設定は A4 版、横書き、48 字 (全角) × 44 行、余白は、上下左右 20mm 程度とする。

（２）文字設定は、和文の場合は原則 MS 明朝、英文は原則 Times New Roman、フォントサイズは 10.5 ポイントとする。
数字は特別の場合以外は半角アラビア数字、原則 Times New Roman を用いる。また、数字は行をまたがらない。漢数字の代替として使用する１桁の数字の場合は、全角で使用してもよい。

（３）記号は、原則句読点は全角、カッコ ( )、数式等の記号は半角とし、前後に半角スペースを入れる。ただし、閉じカッコの後にコンマ (,)、ピリオド (.)、コロン (:)、句点 (。) などがある場合はスペースを入れない。℃、㎡、㎏など機種に依存する特殊記号は使用しない。

（４）カタカナは必ず全角とし、半角では表記しない。「ﾅｰｽ」は「ナース」と表記する。

（５）イタリック体ギリシャ文字など特別な字体、記号はそのつど明瞭に指定する。

２．原稿の作成及び構成

（１）原稿は本学紀要規程第６条に規定の別紙 Word①～④の各様式に沿って作成し、タイトルページのみ別のファイルで提出する。

①タイトルページ (原稿の種類、タイトル、サブタイトル、著者名、所属、メールアドレス)
論壇を除く全ての投稿原稿には、抄録を付ける。

②和文抄録 (原稿の種類、タイトル、サブタイトル、キーワード、要旨)
和文要旨は 600 字程度。背景、目的、研究デザイン、対象、結果、結論などで構成し、簡潔にまとめる。

③英文抄録 (上記②に同じ)
英文要旨は 300 字程度。Background、Objective、Design、Subjects、Results、Conclusion などで構成し、簡潔にまとめる。

④本文 (原稿の種類、タイトル、サブタイトル、本文)

ア．原著論文の本文構成、大項目は次のとおりとする。大項目はすべて太字、ゴシック体とし、中央揃えにする。

Ⅰ．はじめに（または緒言）
Ⅱ．研究方法
Ⅲ．結果
Ⅳ．考察
Ⅴ．結論
謝辞
文献

イ．見出しおよび見出し数字の種類と位置は、レベルによって異なる。数字とアルファベット、カッコは全角とする。ただし、2 桁数字の場合、カッコは全角とし、数字は半角とする。また、丸付き数字 (①②③・・・) とカタカナは列挙用に用いるため、見出には使用しない。

第１レベル ：**Ⅰ．Ⅱ．Ⅲ.** … ; 中央に
第２レベル ：**Ａ．Ｂ．Ｃ.** … ; 左に寄せる
第３レベル ：**１．２．３.** … ; 左端より１字下げる
第４レベル ：**ａ．ｂ．ｃ.** … ; 左端より１字下げる
第５レベル ：**（１）（２）(10)** … ; 左端より１字下げる

（２）副題をつける場合、日本語タイトルは全角コロン (:) を使用する。英文タイトルの場合は、半角コロン (:) を使用し、半角コロンの後に半角スペースを入れる。

（3）タイトルの下に著者名を日本語及びローマ字表記の両方で記入する。その際、どちらも姓を先に記し、ローマ字の場合は姓と名の間にコンマ (,) を入れ、頭のみ大文字とする。
＜記載例＞　日赤花子　　Nisseki, Hanako

（4）図、表および写真は、それぞれ指定された形式で 1 ページに 1 点作成し、図、表および写真の上部または下部にタイトル名を記す。ファイル形式は、図および写真は Power Point (PPT[X]) または JPEG (JPG) 形式、表は Excel (XLS[X]) とする。図 1、表 1、写真 1 と通し番号を振り、本文中に赤字で挿入位置を明記する。なお、印刷・製版に不適当と認められる図表は、書換えを求めることがある。

３．文献の引用

（1）文献とは、実際に本文中に何らかの形で引用して使用、もしくは言及した文献すべてをいう。論文執筆に当たって参考までに読んだだけの、いわゆる参考文献は文献には含めない。

（2）文献は、文中の引用部分の後に ( ) を付し、そのなかに、著者の姓および発行年 (すべて西暦で表示) 、ページ数を記入する。ページは通常 (p. ○○) と表記し、ページが複数にわたる場合は (pp. ○○-△△) と表記する。また、コンマやピリオドの記載は次の表記を採用する。英文の場合、コンマやピリオドの後に半角スペースを入れる。
＜記載例＞
「・・・・・・・・・」(Gordon, 1986, p. 56) という研究結果がある。
①文献全体がそれについて述べたものであって、特定のページを示すことが難しいものは、必ずしもページ数を表示する必要はない。
②同一文献を同じ段落で繰り返し引用する場合は、2 度目以降の引用の際に出版年を表示する必要はない。ただし、段落が変わるごとに、初出の引用部分に出版年を記す。
＜記載例＞
ア．Watson (1982) は、次のような見方を・・・　[ある段落での最初の引用]
イ．こうした Watson の見方は・・・　[同じ段落の中で再度引用された場合]

（3）本文中に著者名が記載されている場合は、その後ろに ( ) を付し、発行年のみ記す。本文中に発行年も記されている場合は、改めて表示する必要はない。文献のページは、当該文章の後ろに記す。
＜記載例＞
①吉田 (1984a) は「・・・・・・・・・」(p. 45) と述べている。
②吉田 (1984b) はそれを当時の社会状況と関連づけて論じている (pp. 56-64)。
③1966 年に Corsini & Cardone は以下のように語っている (p. 102)。

（4）本文中 ( ) 内の著者名は、著者が 5 名までの場合、最初の引用で全員の姓と発行年を記載し、それ以降の引用では、第 1 著者を記載し、第 2 著者以下は「ら」(英文の場合は et al.) を付けて略すことができる。
＜記載例＞
①・・・といわれている (Bacon, Burnes, & Child, 1962)。
②Anderson, Brown, Leff, et al. (1989) は、次のように述べている。
③「・・・・」 (大木, 高橋, 山田, 吉本, 中村, 1991, p. 12)　[最初の引用]
④「・・・・」 (大木ら, 1991, p. 12)　[2 回目以降の引用]

著者が 6 名以上の場合、最初の引用から筆頭著者のみ記して、「○○ら (et al.) 」と略記する。同じ段落内で 2 度目以降の引用では出版年も省略できる。
＜記載例＞
①さらに、Donaldson et al. (1992) は・・・についても論じている (p. 410)。
②大木らの結論は、・・・である。　[同一段落内で、すでに引用されている]

ただし、名前を省略してしまうと、別の文献と同じ表記になってしまう場合、どちらの文献も区別できるだけの著者名を表記する。
＜記載例＞
①大木, 高橋, 山田, 吉本, 中村, 小山, 鈴木ら (1991) の研究によれば、・・・、
②大木, 高橋, 山田, 吉本, 中村, 小山, 田中ら (1991) が調査したところ・・・

英文の場合、「et al.」の前の名前が 1 名のみであればコンマは付さず、2 名以上ならば、コンマを付す。

＜記載例＞　①「Smith et al. 」　②「Smith, Jones, et al. 」

（5）同一著者に同一発行年の文献が複数ある場合は、発行年の後に小文字のアルファベット (a,b,c...) を順に付して区別する。

＜記載例＞　(Clifford, 1993b, p. 56)

（6）同一著者に複数の発行年の文献がある場合は、姓の後に出版年順に並べ、早いものから記す。

＜記載例＞　(三山, 1998, 2001, 2002)

（7）著者の異なる複数の文献を同一箇所で引用する場合は、カッコの中に筆頭著者のアルファベット順に姓と発行年を記し、著者ごとにセミコロン「;」で区切る。

＜記載例＞

① (小山, 1985; 吉田, 1984a)

② (三山, 1998, 2001, 2002; 藤堂, 2000; 四谷, 1999)

（8）外国語文献の翻訳版を使用した場合は、オリジナル (原書) の発行年と翻訳版の発行年を半角スラッシュ「/」で結んで記載する。ページ数は翻訳版のものを記す。訳者名は不要。ただし、文献リストには訳者名も記載する。半角スラッシュ「/」の前後にはスペースを入れない。

＜記載例＞　(Collins, 1982/1992, p. 33)

４．文献リスト（References）の記載

（1）文献リストは、筆頭著者の姓のアルファベット順に記載し、著者全員の姓名を表示する。外国人の場合も、姓 (ファミリーネーム) を先に、名 (ファーストネーム) のイニシャルのみを後に記載する。イニシャルの記載は次の表記を採用する。

＜記載例＞　Jackson, J. , MacFalda, P., & McManus, K. (1989).

（2）同一著者の文献が複数ある場合は、出版年順に並べ、早いものから記す。同一著者による文献が同一年次に複数ある場合には、本文中の引用箇所の発行年に付した小文字のアルファベット順に並べる。

（3）外国語文献で、著者が二人以上の場合、最後の著者名の前にアンパサンド「 , & 」をはさむ。

（4）記載内容が 2 行以上にまたがる場合、2 行目以降は行頭を日本語 2 文字、アルファベット 4 文字分下げる。

（5）文献の種類別の記載は、次のとおりとする。カッコや記号等の記述は、１．執筆形式の（３）に従う。

〔雑誌〕著者名 (発行年). 表題. 雑誌名, 巻 (号), 頁-頁.　※雑誌名は原則として正式名称を用いる。

＜例＞

石川元, 大原健志郎 (1984). 家族療法と非言語. 家族療法研究, 1 (1) , 28-37.

丸田すみ子 (1988). 中部山岳地帯における植生と環境変化に関する研究. 社会生物学研究, 12 (3), 45-56.

Uden, G. (1985). Inpatient accidents in hospitals. Journal of the american geriatric society, 33, 833-841.

オンライン論文の場合、DOI (デジタルオブジェクト識別子) があれば最後に記載し、なければ論文閲覧サイトの URL を最後に記載する。

＜例＞

Hatozaki, C., Sakuramoto, H., Okamoto, M., Nakajima, H., Shimojo, N., & Inoue, Y. (2021). Improving antibiotic administration rate for patients with sepsis in the emergency department. Journal of nursing care quality, 36 (4), 322–326. https://doi.org/10.1097/NCQ.0000000000000540

吉行紀子, 河野あゆみ, 曽我智子, 金谷志子, 堀田邦子 (2016). 要支援高齢者における介護保険サービスの利用パターンと虚弱性との関連性. 日本公衆衛生学雑誌, 63 (3), 135-142. http://www.jsph.jp/member/docs/magazine/2016/3/63-3_135.pdf

〔単行本 (原書)〕著者名 (発行年). 書名 (版). 出版地: 出版社.　※和書は出版地不要。

＜例＞

岡崎寿美子 (1992). 人は痛みをどのように表現するか. 草原社.

American Psychological Association. (2001). Publication manual of the American Psychological Association (5th ed.). Washington, DC: Author.

Corsini, R. J., & Cardone, S. (1966). Role playing in psychotherapy. Chicago: Aldine.

〔単行本 (原書) の分担執筆箇所〕分担著者名 (発行年). 分担箇所のタイトル. 編集者名 (編、洋書は Ed. または Eds.), 書名. (pp. 頁-頁). 出版地: 出版社. ※洋書の編者名は、名 (ファーストネーム) のイニシャル、姓 (ファミリーネーム) の順に記す。

＜例＞

吉井恭子, 大木陽子, 木村洋二, 高田隆一郎 (1983). 精神医療におけるインフォームド・コンセント. 田中信子 (編), 人権の思想. (pp. 123-234). 現代出版.

Charmaz, K. (1983). The grounded theory method: An explanation and interpretation. In R. M. Emerson (Ed.), Contemporary field research: A collection of readings (pp. 109-126). Boston: Little, Brown & Co.

Jackson, J., MacFalda, P., & McManus, K. (1989). Status of nursing shortage and projections. In T. Moore, & E. Simendinger (Eds.). Managing the nursing shortage : A guide to recruitment and retention (pp. 1-2). Rockville, MD: Aspen.

電子書籍の場合、DOI (デジタルオブジェクト識別子) があれば最後に記載し、なければ出版社の URL を最後に記載する。

＜例＞

Carter, C. (2019). Chapters: 9: Managing a major incident in critical care; 14: Oxygen and mechanical ventilation; 6: Critical care in resource limited environments. Critical Care Nursing in Resource Limited Environments; Critical Care Nursing in Resource Limited Environments, Abington: Taylor & Francis Books https://www.book2look.com/book/IOMDtgNb5x

〔翻訳本〕原著者名 (原書発行年)/訳者名 (訳) (翻訳本発行年). 日本語書名. 発行所.

＜例＞

Collins, R. (1982)/井上俊, 磯部卓三 (訳) (1992). 脱常識の社会学. 岩波書店.

〔ウェブサイト中の記事〕著書名 (投稿日). タイトルまたは説明. 入手先 URL [アクセス年月日閲覧]

＜例＞

中央教育審議会 (2008/4/18). 教育進行基本計画について－「教育立国」の実現に向けて－ (答申). http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/08042205.htm [2005/5/18 閲覧]

〔新聞〕著者名 (掲載年月日). 記事のタイトル. 新聞名, ページ. ※著者名は分かれば記す。

＜例＞

知野恵子, 岩本洋二 (2017/8/25). [解説スペシャル] 災害時 SNS 活用するには. 読売新聞 (東京), 13.

(2023/5/27). Experts warn of generative AI risks, urge govt action. The Japan news, 1.

【その他】

上記のいずれにも該当しない引用文献の記載方法については、委員会で協議し、書式を決定する。

附　則

この要領は、平成２６年６月１２日から施行し、平成２６年４月１日から適用する。
この要領は、平成２８年１月２１日から施行し、平成２７年７月１日から適用する。
この要領は、令和２年８月６日から施行し、令和２年４月１日から適用する。
この要領は、令和４年６月２３日から施行し、令和４年４月１日から適用する。
この要領は、令和６年４月１日から施行する。